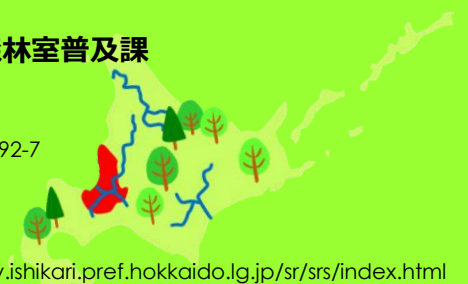




### ■発行：石狩振興局森林室普及課

- 住所：〒061-0216  
石狩郡当別町栄町 192-7
- 電話：0133-22-2161
- FAX：0133-22-0551
- ホームページ：<https://www.ishikari.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srs/index.html>



## 江別市『えみくる』に大型木製遊具が完成

江別市では、子育て世代が「子どもの遊び場の充実」を求めていることに着目し、豊かな自然環境を体感できる「都市と農村の交流センター」（愛称：えみくる）敷地内に、道産木材（道南スギ）を活用した大型木製遊具を整備しました。

遊具の基本デザイン・設計は、令和3年度に石狩振興局が開催した木製遊具活用セミナーをきっかけに、地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場の全面的な協力のもとで行われました。

木材が持つ温かみ・触感を肌で感じながら遊べる工夫に加え、長寿命化を図るため、雨水の滞留や吸水を抑制する設計、接合器具を使用したハイブリット構造を採用しています。

令和4年9月8日、石狩振興局では、管内市町村の林務・建設・公園担当者を対象に、道産木材を用いた木質構造物セミナーを「えみくる」で開催しました。

江別市から遊具建設の事業概要を、林産試験場から遊具設計時のコンセプト等を解説し、実際に木製遊具を見学してもらったことで、公共建築物や遊具への道産木材の導入を考える機会となりました。

令和5年4月28日、完成を祝ってのオープンセレモニーが開催され、閉会后、セレモニーに出席した保育園児が大型木製遊具で遊び、子どもたちは、遊具内をぐるぐる体験したり、先生と鬼ごっこしたりするなど終始楽しんでいました。

保育園の先生からも、「木材の肌触りが柔らかいことや、立体的な迷路状に造られているので飽きずに楽しむことができ、保育園児の運動能力も向上しそう！」と好評でした。また、近隣児童館の指導員も見学を訪れ、「近くに遊べる公園がなく、オープンを待ち遠しく思っていた」と喜んでいました。

このニュースは、北海道新聞江別市地域版で掲載されたほか、江別市の公式ホームページでもPRしているとともに、北海道では木育や HOKKAIDOWOOD の Facebook 等でPRしています。



オープンセレモニー



完成した大型木製遊具



遊具内で遊ぶ子どもたち

# 『サッポロさとらんど』に木製遊具広場がオープン

札幌市内にある農業体験ができる都市と農業をつなぐ田園テーマパーク「サッポロさとらんど」に、食と農をテーマにした道南スギで造られたアスレチック遊具広場がオープンしました。対象年齢は6～12歳で、「ぐんぐん」「野菜」「畑」「お米」「食」をテーマにした、さとらんどを連想する5つのエリアに、25種類の道内最大級となる遊具があり、「食と農」を体感することができます。利用は無料。利用期間は4月29日～11月3日（夏期営業期間）となっています。

また、さとらんどセンター2階にあった貸し会議室3室を廃止し、食育と木育をテーマにした、乳幼児向けの屋内キッズコーナーもオープンしています。約50種500個のアイテムを揃えた「おままごとコーナー」や、道庁赤れんが庁舎改修工事に伴い伐採したイチイ、さとらんど園内のシラカンバを加工した積み木も設置されています。利用は無料。利用時間は9時～16時となっています。キッズコーナーの設置には、森林環境譲与税を活用しました。室内は明るく、木のぬくもりに触れられる施設で、HOKKAIDOWOODのPRにもなっています。市役所担当者によると、「木育と食育は親和性があり、利用者にも好評で、平日も休日も沢山の親子連れが来場している」とのことでした。



木製遊具「たまねじム」



おままごとコーナー



カバやイチイを加工した積み木



# 千歳市森林組合が千歳市に『木の玉プール』を寄贈

千歳市森林組合では、組合組織改正70周年を記念して、千歳市に「木の玉プール」を寄贈しました。

寄贈したのは、道産材を加工した木の玉プール1台と、木の玉約2,000個。木の玉プールと木の玉は、道南の製材工場で作られたもので、令和5年4月2日、子育て支援センター「げんきっこ子どもセンター」に設置されました。



HOKKAIDOWOOD ロゴ入り額縁



寄贈された木の玉プール

